



## ～ アルシェの NPO 支援事業 ～

アルシェでは、会計・労務・広報などの講座を実施しています。また、提案型委託事業として小野市から受けている市民活動活性化事業では、「コミュニケーションスキルアップ講座」を開催。  
NPO に関わる方、延べ 60 名が参加されました。

会計講座のアンケートによると理解指数はかなりアップしたものの、団体によって悩みもいろいろ。個別対応の必要性を感じました。



コミュニケーション講座では、「目からウロコだった！」という声をたくさんいただきました。



活動を継続するためには組織の基盤づくりも大切！  
これからもニーズに合った支援事業を展開できるよう、  
スタッフもスキルアップしていきたいと思います。

# Arche Letter

NPO 中間支援組織  
アルシェの情報誌

Vol. 16



## アルシェって？

北播磨地域の市民活動活性化を  
目的とし、活動しています。

## おもな事業

エクラ指定管理・行政の事業受託  
NPO 支援事業・子育て支援事業 他

2010年2月20日発行

NPO 法人 北播磨市民活動支援センター  
(愛称:アルシェ)



考えてることじゃべらせてもらいます！



## 「目的を見失う危うさ」

NPO 法人 北播磨市民活動支援センター 理事長 柳田吉亮

やなぎた よしひろ

**忙**しいとは「心を亡くす」と書く。「忙しすぎると心を込めることが出来なくなる」と言うことであろうか。「心をこめる」とは抽象的だが、忙しすぎると気が焦るのは確かだ。

そうなると効率や前例を優先した手法が重宝となり、安直な成果を求めることでよしとしたがる。そして、本来の目的を忘

れていることに気がつきにくくなる。

物事を行うには、すべからく「何のためにするのか」という目的がある。その目的を達成するために「どうすればいいのか」という手法があり、その手法の進捗をチェックするために目標が設定される。目標を達成することは、あくまでも目的をなすための通過点なのだ。

紆余曲折がありながらも順調にきたアルシェだが、相変わらず忙しい日々が続いている。エクラ指定管理第一期 5 年を無事終えたことで満足せず、今こそ設立の趣旨に立ち返り、再び襟を正して取組むべき時期がきているように思う。

目的を見失った組織や事業は、その存在意義をなくすのと同様であることを肝に銘じて。



アルシェの主義主張を聞いていただこうという、何とも手前みよなこのコーナー。

第 1 回目は NPO 法人の立ち上げから今もなお、アルシェを支え続ける理事長。指定管理 2 期目を目前にして思うところは！？